

月報しんわ

総合版

平成27年
8・9月号
社会福祉法人
進和学園
〒474-0445 愛知県西尾市万田4-4-5

『防災の日』

日頃からの備えを大切に！

東日本大震災の被災地では福祉施設の利用者の命を守るための必死の活動が行なわれました。避難生活の問題として「避難所にはベッドが無く車椅子で何日も寝ざるを得なかった」「普段服用している薬が無かった」「周囲の方たちと馴染めず車で寝泊りした」などがありました。

これまでの福祉施設の災害対策では、災害時いかに早期に通常業務を再開するかということについては、ほとんど検討されていませんでした。東日本大震災以降、福祉施設においても災害時に事業を継続し、利用者と地域社会の安全を確保することの重要性があらためて見直され、「事業継続計画」(BCP)の策定が求められるようになりました。進和学園では防火管理者会が中心となって、事業継続計画(災害時の連絡体制、職員の確保、復旧優先順位と手順等)の策定をしています。

「磯の池供養」 7月30日(木)

昭和46年7月29日、児童施設時代に入所されていた児童の一人が八重久保教室より行方不明となり、その後、多くの方たちの捜索の甲斐もなく、翌30日夕刻に磯の池で発見されました。溺死でした。「事故はいくつかの不運の重なりと、ちょっとした油断から引き起こされる」と出縄雅之理事長がいつも私たちに教訓として話されている言葉です。その言葉を胸に法人各施設の防火管理者は毎年7月30日に磯の池に赴き、ご冥福を祈るとともに戒めとしています。今年度は施設長をはじめ、新任職員、中堅職員も各施設から現場に行きました。理事長より当時の状況、無念さを語っていただきました。

同じような事故が起きないことを誓い職員全員で手を合わせました。



高村西盆踊り大会 8月1日(土)

地域の皆さまと一緒に輪になり、盆踊りを楽しみました。高村西自治会長浜崎徳広様や心の親でお世話になっていいます麻生ご夫妻と共に楽しく過ごしました。



土屋地区ふれあい夏まつり 8月1日(土)

土屋自治連会長安池昭夫様、土屋地区社協会長小清水恒夫様をはじめとする地域の皆さまに温かく迎えていただき、盆踊りやおみこしを近くで見ながらかき氷や焼きそばを食べ、楽しい時間を過ごしました。



高根地区ふれあい夏まつり 8月2日(日)

高根地区のふれあい夏まつりに参加しました。高根自治会長逸見伸夫様はじめ地域の皆さまと共に、焼き鳥やお菓子を食べ、盆踊りにも参加し、楽しい夏の思い出になりました。



吉沢地区ふれあい夏まつり 8月15日(土)

吉沢公民館にて夏まつりが開催されました。森正明様(県議)坂間正昭様(市議)平野忠尚様(吉沢公民館長)と楽しく歓談し、盆踊りや模擬店を楽しみました。



赤い羽根共同募金「福祉車両購入」

赤い羽根共同募金の配分金を受けて、ビークライトしんわに初めての福祉車両が導入されました!! トヨタハイエースリフト付き9人乗車(内車椅子2台)後部座席を倒せば、車椅子を4台乗せることができます。今まで乗介助が必要だった方もリフトでスムーズに乗車出来るようになりました。快適な送迎が行なえるようになりました。学校、自宅への送迎に大活躍しています!



大切に
使います。



車椅子が乗せ
やすくなりました。

ふれあいインタビュー

NPO法人 暮らしと耐震協議会

事務局長 大石明広様

このたび進和学園の防災活動についてご指導いただいているNPO法人暮らしと耐震協議会の事務局長、大石明広様にインタビューさせていただきました。

【暮らしと耐震協議会(以下「協議会」)】協議会は、平成17年2月に設立し、平成19年8月にNPO法人化しました。市民の命と財産を守ること、こども・高齢者・障がい者を守ること、住みやすいまちづくり、環境づくりが目的です。今まで耐震診断252件、耐震補強工事142件の実績があります。組織は木谷正道理事長をはじめ、診断計画・工事・評価・広報・経営企画・福祉・文化・広域連携と各部会に分かれ、強みは建築士、工務店など各分野の専門職が参加していることです。福祉部会は、進和学園の出縄守英副理事長が担当です。私は事務局長として連絡窓口、全般のとりまとめや事務処理をしています。

【耐震診断・工事について】

まずは家具の固定をすることが重要です。そして、昭和56年以前の旧建築基準法の建物は、耐震診断、工事に対して市町村より助成金がありますので、該当する方は、耐震診断をお勧めします。耐震補強工事は、リフォームに合わせて行なえば効率よく安くできます。



【活動内容について】

協議会は、耐震補強を進めるために、防災の話だけでなく、囲碁の普及、心の唄コンサート、被災地支援、地域イベント活動など幅広く取り組んでいます。防災に強いまちづくりは、人のつながりを強くすることです。今までマスコミ等で取材され、注目されてきましたが、なかなか耐震補強が進まない現実があります。大きな地震が起きた時には家具や家の下敷きにならないことが重要です。

【進和学園の小基盤事業について】

平成19年より協議会との連携事業として、耐震工事が出たベニヤ端材を無償提供して、小基盤セットをサンメッセしんわで生産、販売してもらっています。シルクスクリーンで線を印刷した6路盤9路盤の裏表の板に基石をつけたセット

で初心者にも最適です。防災、福祉、文化、環境が連携しています。ひらつか市民活動ファンドの助成を受けて、平塚市内の各自治会、小中学校等に配布した実績もあります。

【今後の抱負】

私は事務局長として、お客様の問合せに最初に対応しますので、丁寧な説明を心がけています。世の中には悪徳業者もありますが、協議会の活動を通して信用をいただいています。今後も耐震補強を進めるために行政にも働きかけて、協議会の目的である「建物の補強と心の補強」を進めます。また、今年度より自分の住む地域自治会の防災推進委員にも就任しましたので、地域のためにも貢献したいと思っています。

【編集委員より】

とても気さくな方で、耐震に関して大変わかりやすく説明してくださいました。耐震の両輪は、家具の固定と建物の補強であるということ、防災の大切さ、それによって守られる命がある事を熱心に話してくださいました。地域での活動に積極的に参加し、お互いが思いやれば、災害の被害は減るのだと思います。防災の事だけではなく、大切な「繋がり」の話をしてくださいました。ありがとうございました。



大石明広様 サンメッセしんわにて
平成27年9月7日(月)
月報編集委員 守田彩乃

ホンダ都市対抗野球応援

7月22日(水)・24日(金)

本田技研工業(株)様の硬式野球部が狭山市代表として都市対抗野球大会に出場されましたので、進和学園、研進、小田原支援センター、総勢53名の応援団を組んで、東京ドームへ応援に行ってきました。一回戦は三菱重工(名古屋)六対一で快勝しましたが二回戦では王子(春日井市)に0対二で惜敗してしまいました。ホンダの皆さまと一丸となって盛大に応援し、汗と感動の素晴らしい時間を過ごしました。



ホンダ真夏の祭典 2015

8月2日(日)

本田技研工業(株)埼玉製作所様より、今年も真夏の祭典にご招待いただき、利用者、職員・研進の計12名で参加しました。湘南みかんぱんやトマトジュース、陶芸品等の自主製品を販売しました。猛暑の中でしたが、ホンダ様と交流ができ、とても楽しい思い出になりました。



JICA 来訪 7月8日(水)

今年もJICA(国際協力機構)より6か国6名の方が視察研修に来訪されました。しんわルネッサンスのホンダ車部品組立事業と(株)しまむらの施設外就労作業、進和万田ホームの日中活動等をご視察いただきました。熱心な質疑を交わしながら、ご本人・職員との温かい交流が生まれました。



秦野曾屋高等学校との取り組み

7月10日(金)・9月5日(土)

秦野曾屋高等学校との交流は、6年目を迎え、ますます深まっています。

7月10日(金) 3年生を対象に「社会福祉基礎」授業の一環として、しんわルネッサンスを見学していただきました。



9月5日には、文化祭「秋輝祭」のイベントとして、校内植栽地の育樹や販売ブースの運営等、皆で協力して行ないました。

どんぐりブラザーズ夏祭り

8月27日(木)

「どんぐりブラザーズ」のメンバーであるNPO法人パソボラサークル様の農業ステーション(小田原市)で、「ポット苗づくり」イベントを開催しました。

小田原の清らかな泉水の湧き出る中で、元気に育つよう思いを込めてつくりました。さわやかな汗が心地よかったです。休憩時には自慢の梨をいただき交流を深めました。



日本生命 森づくり基金ご寄付

9月11日(金)

日本生命労働組合平塚支部様より、昨年と同様に「いのちの森づくり基金」に10万円のご寄附をいただきました。

ご厚意を活かし、森づくりの活動が今後さらに発展していくよう、努力していきたいと思っています。



福祉ショップ「ありがとう」

一周年記念セール

7月28日(火)平塚市役所一階の多目的スペースに、ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」がオープンして、おかげさまで一周年を迎えました。昨年7月に平塚市の障がい福祉施策の一環として運営協議会が設置され、平塚市内を中心とした30以上の事業所・団体の食品やグッズを常設ワゴンショップで販売しています。一周年当日、ご来店の方には、店員さんより「ありがとう」の気持ちを込めて、それぞれの事業所の記念品をお渡ししました。



福祉ショップ「ありがとう」

土屋霊園で出張販売

8月13日(木)・15日(土) ひらつか障がい者福祉ショップ「ありがとう」が平塚市の土屋霊園で販売を行ないました。お盆の時期であり墓参りされる方が多く、たくさんのお客さまが来店されました。暑い季節に冷やした湘南みかんばん、ドーナツが好評でした。



サンメッセしんわ

夏のイベント販売

貴峯荘 夏祭り
(障がい者支援施設)
7月24日(金)



夜は提灯に灯りがともり、賑やかな雰囲気の中、皆さまとの交流を深めました。

高根台ホーム 夏祭り
(特別養護老人ホーム)
7月24日(金)



夕方から夜にかけて、高齢者の方や、地域の方など、多くの人で賑わいました。

伸生会 夏祭り
(特別養護老人ホーム)
8月15日(土)



湘南みかんぱんをはじめ、ドーナツやお菓子を販売しました。輪投げや射的などのゲームにも参加し、高齢者の方との交流を楽しみました。

はばたき進和 陶板完成式



7月27日(月)
はばたき進和の陶板の完成式に、制作に携わったご本人と職員が揃い、みんなで陶板の完成をお祝いしました。

いずみ保育園誕生会

『とびつきり』

レインボーズ出演



8月31日(月)いずみ保育園の誕生会に器楽同好会「とびつきりレインボーズ」が出演しました。ドラえもんなどの曲など、新曲を含めて6曲を



みんなで楽しく歌いました。メイボ・カル・藤井聡さんのパフォーマンスに園児の皆さんも元気な歌と踊りで応えてくれました!

平塚市・平塚市相談支援事業所合同事業『ふれあいキャンプ』



市内の障がい児(小一〜高三)のための夏休み体験プログラム。「おでかけ(アースプラザ見学)」「調理体験(カレーづくり)」「ふれあいキャンプ」を進和学園のサンシティが中心となり企画、19名が参加されました。

ビールライトしんわ放課後等デイサービス 夏の特別企画BBQ

7月20日(月)に秦野戸川公園でバーベキューを行いました。利用者・職員81名の大所帯でした。ボランティアの協力もあり、子供達の笑顔が印象的で、夏の楽しい思い出が作れました。



第17回 本人シンポジウム

主催：神奈川県本人の会「希望」



7月26日(日) 藤沢市労働会館にて行なわれ、本人自治会連合会の代表が参加しました。「趣味」「働く」についての話し合いや意見交換を行いました。熱い議論が飛び交い、有意義でした。

神奈川県障害者スポーツ大会『卓球大会』



7月12日(日) 寒川総合体育館にて開催されました。額に汗をにじませ、ラケットを握り真剣勝負を繰り広げました。日頃の練習の成果を発揮することができました。

健康診断 7月16日(木)

嘱託医 北山禎昭先生(北山整形外科) 倉田康久先生(くらた病院)により各施設の健康診断を実施していただきました。健康管理について先生方よりいろいろなアドバイスをいただきました。ありがとうございました。



健康診断の様子

口腔健診 7月30日(木)

坂本歯科医院の松田真由美先生により各施設のご本人の口腔健診を実施していただきました。口腔内の健康についてご指導をいただきました。ありがとうございました。



From プチ・ブーケ

おかげさまでプチ・ブーケは、4周年を迎えました。9月1日〜4日の4日間、「ありがとうセール」を行いました。進和学園の自主生産品をはじめ、新しい商品も販売し、たくさんの方にご来店していただきました。



4周年記念セール期間中の看板

ともしびショップ

湘南平だより

『ともしびショップ 一時休業のお知らせ』



いずみ保育園建替のため、工事期間中、法人本部をともしびショップ二階に移転します。つきましては、10月20日(火)より3月31日(木)まで喫茶部門は一時休業とさせていただきます。尚、自主製品・グッズ販売部門はサンメッセしんわが窓口となって継続します。そして、一階はフリースペースとして囲碁クラブ、染ふきん作業、手芸作業、手仕事屋さん、生花教室等を行なっていく予定です。よろしく願っています。

